

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2007年11月 NO.10

SMILES

<http://www.childfund.or.jp>



チャイルドたちのお手伝いシリーズ 10

“ 屋台の手伝い ”

チャイルドたちは、家のお手伝いをよくします。この少女は放課後に両親を手伝って、屋台でおかゆ(ルガウ)を売っています。

味付けは醤油や酢、お好みでカラマンシー(日本のスダチに似た柑橘類)をキュッと絞って。暑さがひいた夕暮れ時は、仕事を終えた人たちで大賑わいです。

写真：センター45(マニラ市、オールドサンタメサ地区)

ChildFund
Japan

～CCWA国際精神里親運動部は、
2005年3月チャイルド・ファンド・ジャパンに法人変更しました～

特集 チャイルドの
成長記録
の楽しみ方

「チャイルドの成長記録」の楽しみ方

皆様、お待たせいたしました!今年も「チャイルドの成長記録」をお届けいたします。「チャイルドの成長記録」は1年に1度、スポンサーシップ・プログラムの成果を皆様にお伝えするための最も大切な報告のひとつです。フィリピンから送られる「チャイルドの成長記録」には、チャイルド・ファンド・ジャパンならではの、情報が満載です。ぜひ、昨年の「チャイルドの成長記録」をお手元において、成長をご確認ください。

今号では「チャイルドの成長記録」の備考欄の記述や写真から、チャイルドの暮らし、学校生活、センターの取り組みをさらに身近に感じていただけるよう、新たな“楽しみ方”をお伝えします。

*2007年4月1日以降にご支援をいただいているスポンサーの方へは来年のお届けになります。

楽しみ方その1 まずは、昨年の成長記録と比較。チャイルドの変化をじっくり確認してください。



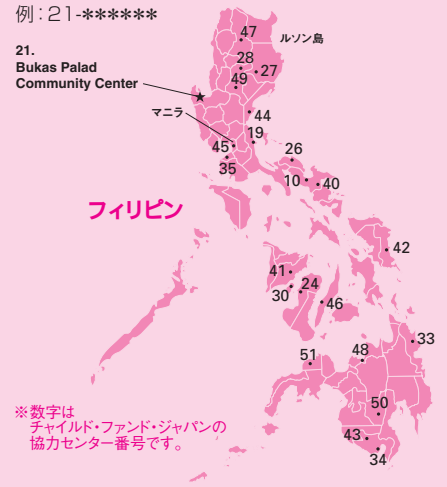
チャイルドの成長記録 (小学校・ハイスクール、一部就学前)
INDIVIDUAL PROGRESS REPORT : Elementary School and High School

Name of Center センター名 Bukas Palad Community Center																																																												
Name of Sponsored Child チャイルド名 Eulices																																																												
The Date of Birth 生年月日 March 23, 1997 Sex 性別 Male Case Number チャイルド番号 21																																																												
Personality 特徴 <input type="checkbox"/> Bright 利発 <input type="checkbox"/> Dependable 責任感が強い <input type="checkbox"/> Obedient 素直 <input checked="" type="checkbox"/> Friendly 人なつこい <input type="checkbox"/> Shy 恥ずかしがりや <input type="checkbox"/> Diligent 勤勉	Nutritional Level 栄養状態 <input checked="" type="checkbox"/> Average 標準 <input type="checkbox"/> Mild やややせている <input type="checkbox"/> Moderate やせている <input type="checkbox"/> Severe やせすぎ <input type="checkbox"/> Overweight 太りすぎ <input type="checkbox"/> Unknown 不明																																																											
Educational Level 学年 New School Year 新学年度 2007 -- 2008 Elementary Grade 5	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Subjects 科目</th> <th colspan="4">Grades / Grading Period 成績/学期</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4 Final 総合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pilipino/Filipino 国語</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>English 英語</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>Mathematics 数学</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>Science 理科</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>Makabayan マカバヤン</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>Social Studies/Sibika at Kultura/HEKASIHKS 社会</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>MAPEMSEPMSEPK 音楽・園工・体育</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>HELEPPVTHE 技術・家庭</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>Value Education/GMRC/CBA 道徳</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> <tr> <td>RHGP</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> <td>Pass</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 及第点は75.0です。</p>	Subjects 科目	Grades / Grading Period 成績/学期				1	2	3	4 Final 総合	Pilipino/Filipino 国語	Pass	Pass	Pass	Pass	English 英語	Pass	Pass	Pass	Pass	Mathematics 数学	Pass	Pass	Pass	Pass	Science 理科	Pass	Pass	Pass	Pass	Makabayan マカバヤン	Pass	Pass	Pass	Pass	Social Studies/Sibika at Kultura/HEKASIHKS 社会	Pass	Pass	Pass	Pass	MAPEMSEPMSEPK 音楽・園工・体育	Pass	Pass	Pass	Pass	HELEPPVTHE 技術・家庭	Pass	Pass	Pass	Pass	Value Education/GMRC/CBA 道徳	Pass	Pass	Pass	Pass	RHGP	Pass	Pass	Pass	Pass
Subjects 科目	Grades / Grading Period 成績/学期																																																											
	1	2	3	4 Final 総合																																																								
Pilipino/Filipino 国語	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
English 英語	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Mathematics 数学	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Science 理科	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Makabayan マカバヤン	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Social Studies/Sibika at Kultura/HEKASIHKS 社会	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
MAPEMSEPMSEPK 音楽・園工・体育	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
HELEPPVTHE 技術・家庭	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Value Education/GMRC/CBA 道徳	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
RHGP	Pass	Pass	Pass	Pass																																																								
Remarks 備考 Eulices has been actively participating in the class discussions and recitations. He sees to it that he prepares all his homeworks and reviews his previous lessons before entering his class. He also makes it a point to attend the activities in the community. These helped him overcome his shy ness. He learned how to articulate his ideas and became aware of the different realities in his community. He shares his experiences with the other youth. He participates in some of the youth activities in the community such as the cleanliness drive. He loves playing with his friends in the community but he makes sure that he does not neglect his tasks at home. He attends children's meeting held in the area.																																																												
Date of Print: July 1, 2007 Prepared by: <i>Joseph P. P.</i>	Signature of Superintendent: <i>Ms. Estrella Kikonga</i> Ms. Estrella Kikonga																																																											

皆様のチャイルドが暮らしている地域はどこでしょうか?

チャイルド番号の最初がセンター番号になります。

例: 21-*****



センタースタッフ直筆のサイン

センター長の直筆のサインです。担当スタッフが書いた内容を承認したというしるしです。

Ms. Estrella Kikonga
センター21のセンター長エスター・アルコンガさん



成長記録の備考欄とは?

協力センターでは、50人のチャイルドに1人のフィリピン人スタッフが担当して、プログラムの実施や、チャイルドたちの成長をサポートしています。スタッフは家庭や学校訪問をとおして日常を見守り、1年間を振り返って「成長記録の備考欄」でレポートしています。約5,000人の「成長記録」のデータはコンピュータで管理して支援に活かすため、東京事務局で把握しています。

備考欄の翻訳

ユリシスは授業中の話し合いや暗唱に積極的に参加しています。宿題をきちんと済ませ、授業の準備もしています。地域での活動をとおして、シャイな性格を克服することができました。また、自分の考えをはっきり述べ、様々な地域の問題に気がつくことができるようになりました。自分の経験を他の人とわかちあい、美化運動など青少年のための活動にも参加しています。友だちと遊ぶことが大好きですが、家の手伝いを忘れないようにしています。地域の「子どもの集会」に出席しています。

楽しみ方その2

チャイルドの表情や、成長の変化とともに、ぜひ背景にも注目してみてください。室内で撮影することもあります。学校、家の前、地域で撮影していることも多く、チャイルドの暮らしを垣間見ることができます。



通学しているハイスクールで撮影



トライシクル(側車つき三輪バイク)が見えます。

楽しみ方その3 「チャイルドの成長記録」からフィリピンの学校生活を拝見

★成績にひびく!? 課題・宿題、そして授業態度

成績には学期ごとのテストの結果とともに授業への参加 (discussion) や暗唱 (recitation)、課題 (assignment)、宿題 (homework) の提出が重視されます。

★国語は、フィリピン語。でも、教科書は…。

フィリピンには、70~80ものことばがあります。国語はタガログ語を中心に地方言語から単語等を取り入れてつくられたフィリピン語です。公用語はこのフィリピン語と英語で、小学校のときから英語を学びます。理科、算数などの教科書も英語で書かれていることが多く、英語が苦手な勉強が遅れているチャイルドへは、センターで補習授業 (remedial class) をしています。



★みんなが、only one?

「チャイルドの成長記録」には、びっくりするほど多くのチャイルドが学校の表彰式 (recognition day) で“賞”をもらったとの記述が出てきます。

例えば…

礼儀正しい生徒(子)賞 (Courteous award)

誠実な生徒(子)賞 (Loyalty award)

時間を守る生徒(子)賞 (Punctual award)

素直な生徒(子)賞 (Obedient award) などなど。

その他にも“Miss/Mr.〇〇を探せ”のようにユーモアたっぷりのコンテストも数多くあります。これは優秀な子どもだけではなく、子どもの個性に応じて良いところを探して伸ばそうという考えに基づいています。

★通学手段

家から学校まで遠い場合や、雨季などにはジープニーやトライシクル (側車つき三輪バイク) を利用することがあります。交通費 (transportation fee) を工面できない家庭へは、必要に応じて支給をしていますが、長期休暇に農作業などをして働き、自分で工面するチャイルドもいます。



©Erik Liongoren

楽しみ方番外編 翻訳ボランティアさんの活躍

備考欄の翻訳は、ボランティアの方々にお手伝いをいただいています。「成長の記録」の翻訳をとおして、どのようなことを感じていらっしゃるのでしょうか?

翻訳の楽しみ

ボランティア登録をして以来、何十件かの翻訳をさせて頂きましたが、心からやりがいのあるお仕事だと感じてやっています。原文の中で、センター活動で友だちと楽しんだということが書いてあれば嬉しく思い、知人が亡くなったというような悲しいことには自分も本当に辛くなり、あたかも実のきょうだいか子どものように感じることもあります。また翻訳中に、子どもたちの勉強に対する熱意を感じることも多々あります。彼らは貧しい家庭環境の中でも学習意欲を常に持ち、なおかつ家の手伝いやきょうだい達の面倒をみるといった形で家族を助けています。その前向きな生き方は、私自身の生活を客観的に見つめ直す良い機会を作ってくれたと思います。そして私は異国の文化に興味を持っていたので、食事や行事等、全く想像のつかない単語が出てくると非常に好奇心が湧いてきます。フィリピンからの「成長記録」を翻訳させて頂きましたが、私の訪れてみたい国の一つに加わりました。

時には、苦勞も

原文の中には日本人の発想には無いような英文がいくつかあり、どう訳せばよいのだろうと困惑する部分がありました。特に動詞の過去形や3単現などの文法はあまり気にしないで書いていることが多いようでした。だからこれは文脈で訳すべきか、そのまま訳すべきか迷う文章が多かったなと感じました。しかし同時に、小さいことは気にしない、南国ならではのおおらかな英文だなとも感じています。



上田 耕久さん
(スポンサー/在宅ボランティア)
現在、埼玉の大学で臨床検査技師
の国家資格取得のため勉強中。

事務所での作業風景

ボランティアさんのお仕事は、翻訳だけではなく、事務局で成長記録を折って、資料と組み合わせる作業もボランティアの方々をお願いしています。



「チャイルドの成長記録」には、「センター長の活動報告書」を同封してお送りしています。これは昨年1年間に、各センターで力を入れた活動を選んで、スポンサーの皆様へ報告するものです。スポンサーシップ・プログラムの中で、センター長が日本の皆様へぜひお伝えしたいという報告が今年もたくさん届きました。その中から、「チャイルドの成長記録」の備考欄にもよく登場する、代表的な活動をご紹介します。



「センター長の活動報告書」

チームワークで健康を守る



歯科医師から、**歯磨き指導**を受けるチャイルドの母親。歯がないことは、健康面だけではなく、自信をもって人とつきあえない原因にもなります。やはり予防が大切。(センター40)



命の贈り物、**水供給システム**によって子どもたちは水くみの重労働から解放され、皮膚病も減りました。運営維持や管理費用は住民組織が担います。(センター50)

生薬作りの研修

チャイルドの親たちが、薬草園を管理して製品化しています。熱、めまい、頭痛、下痢、せき、疥癬などに対処し、売薬を工面できない家庭の大きな助けとなっており、同時に売り上げの一部が収入の足しになっています。(センター48)



薬草をたたいて、つぶして



飲用水と薬草をミルク状になるまで、グツグツよく煮ます。



できあがり!

お母さん、起業家を目指す。



豚の肥育や野菜栽培を通して、収入向上を目指します。この地域では、60世帯のチャイルドの家庭が参加しました。(センター24)



「**起業能力の開発**」を目指して行われた食品加工の研修。地元で手に入るキャッサバ(芋)とバナナチップ製造、イワシ加工などを学び、地域で販売をしています(写真はセンター44の報告書原文より)

家族&ご近所の底力をUP!



結婚生活を豊かにする**セミナー (marriage Encounter/Enrichment seminar)** 家族への支援で、独特なのが夫婦、家族の関係を考えるこの取り組みです。

大勢のチャイルドの親たちから、初めてお互いに向き合って自分たちの結婚生活について話し、どこで関係が食い違い、それがいかに子どもに影響したかがわかったという声が聴かれました。日本でも、必要な取り組み!?(センター28)



家族の日 (Family day) のゲーム大会で、奮闘するお父さん。ココナッツを脚に挟んで速さを競います。応援を背に受けて“ここは、負けられない”暮らしの厳しさを一時忘れ、キリスト教徒もイスラム教徒も思い切り楽しみながら団結力を高めるイベント。(センター34)

センターは遊び場。そして、学びの場



登場人物の役に成りきるスタッフの語り口で、子どもたちは本の世界に引き込まれます。家には本がほとんどないチャイルドたちにとって「読み聞かせ」は貴重な時間。(センター27)



修養会(recollecion)、若者の集い(youth meeting)、自己啓発セミナー(value formation/clarification)など、チャイルドの手紙にもよく登場するおなじみの活動。悩みを分かち合い、自分を知ることで殻を破り、積極的に行動するきっかけを作ります。ギターを弾いて一緒に歌ったり、会の盛り上げ方がうまい。(センター21)



地元の市主催の「子ども会議」(Children's Congress)に参加して意見をたたくチャイルドたち。地元の問題と、自分たちの理想の未来を話し合い、解決策を考えていきます。フィリピンの将来をになう、若きリーダーの誕生です。(センター30)

“愛”をテーマにしたフィリピンと日本の子どもの絵画展に参加したチャイルドたち。プロの画家のもとで、自分の考え、気持ち、意見を表現する方法を学びました。愛を伝えることはけっこう難しい?! (センター35)



この表情に注目してください。「子どもの権利」を劇で表現しているチャイルドたち。机の上では学べない、生きた勉強です。(センター46)



フィリピンには様々な少数民族が暮らしています。薄れていく伝統を尊重する活動が、自分たちのルーツに誇りをもつことにつながります。民族衣装でキメたカリంగా族のチャイルドたち。(センター47)

スリランカのチャイルドの成長記録

スリランカは、CCF(キリスト教児童基金)との協同事業のため、「チャイルドの成長記録」の形式が、フィリピンと異なります。スリランカの「チャイルドの成長記録」は、どのようなプログラムを受けたか、項目をチェックしてお知らせします。子どもの成長がわかる写真が2枚つきます。翻訳をご希望でないかたには、お手紙と同様スリランカ事務所から直接、郵送でお届けします。



スリランカのチャイルドの成長記録



スリランカ



支援プロジェクト情報 ⑩

現在、チャイルド・ファンド・ジャパンが支援しているプロジェクト

「支援プロジェクト情報」のページでは、今まで事業の経過や成果を中心に皆様にご報告してまいりました。効果的な成果をあげるためには、支援活動を“縁の下”で支える人材の存在が欠かせません。チャイルド・ファンド・ジャパンは、各国のスタッフが連携し、志をひとつにして活動を実施しています。今号ではネパール事務所所長のご挨拶と、勤務歴10年になるフィリピン人スタッフのメッセージをお届けします。

- 【インドネシア・スリランカ】
 - ・津波被災者の復興支援事業
- 【ネパール】
 - ・保健行政システムのキャパシティ・ビルディングによるネパールの女性と子どもの栄養改善計画
 - ・栄養改善事業
 - ・オカルドンガ地域病院事業
- 【フィリピン】
 - ・バラワン族生活改善プロジェクト



ネパール

ネパール事務所所長 田中真理子

皆様、初めまして。今年6月よりネパール事務所長に就任した田中真理子です。よろしくお願ひします。20数年前にネパール人と結婚し、それ以来こちらで生活し子どもも3人います。日本のNGOの仕事に1995年から8年間携わり、その後日本政府の海外援助実施機関である国際協力機構(JICA)ネパール事務所で、日本のNGOの側面支援を行なう業務も担当しました。12年前にはまったく未経験のままNGOの世界に入りましたが、活動が自分の子どもたちにも関係する教育や栄養、出生証明書、子どもの権利などに関連することだったため、他人事として放っておけない気持ちで仕事をしてきました。ネパールの近況ですが、1996年以來続いていたマオイスト(極左系毛沢東信奉者)の人民戦争に



田中真理子 カトマンズ市内の仏舎利塔の前で

昨年秋いったん終止符が打たれ、政府との間で和平合意がなされました。しかし、その際約束した王制廃止と共和制樹立を未だに政府が実施しておらず、業を煮やしたマオイストは再び独自路線によりこれらを遂行しようとしています。さらには、インドと国境を接するタライ地方の先住民らによる自治等を求める暴力的な事件も起き、国内避難民も発生しており、まだまだ余談のできない状況です。更には、雨季(6-9月)の洪水や土砂崩れによる被害で、今年も150名近くの死者が出て25,000軒以上の家屋が崩壊しました。困難な状況下で一番大きな影響を受けるのが、子どもです。チャイルド・ファンド・ジャパンのネパール事務所は、今後事業の焦点をよりいっそう「子ども」に絞り込み、ネパールのすべての子どもが「開かれた未来」への希望を抱けるよう尽力していきたいと考えています。引き続き皆様からの暖かいご協力をよろしくお願ひいたします。



ネパール事務所のスタッフとともに



フィリピン

フィリピンからは、マニラの連絡調整事務所にも席を置き、チャイルド・ファンド・ジャパンのネパール事務所、インドネシアやスリランカの緊急支援の会計監査等を担当しているアイリーン・サンチャゴをご紹介します。連絡調整事務所は、チャイルド・ファンド・インターナショナル内の連携事業の円滑な実施や、緊急支援時に迅速な対応をすることを目指して2006年に設けられました。現在は2名のスタッフが勤務しています。

連絡調整事務所の会計監査担当 アイリーン・サンチャゴ

私はフィリピンの政府系機関で勤務した後に、国際協力の分野にすすみました。カトリック教会が運営する社会開発・緊急支援団体や他の国際NGO、CCWA(チャイルド・ファンド・ジャパンの前身)をあわせると、国際協力の分野に携わって18年になります。今は公認会計士の資格を活かして、事業の会計監査やネパール事務所の監査、スタッフへの会計についての研修を担当しています。通常、会計や財務の仕事は単調で面白くないと思われることが多いのですが、これは私にはあてはまりません。なぜなら会計監査は、財務という視点から健康、栄養、教育、収入向上などの支援活動を広く包括的にとらえることだからです。世界の恵まれない子どもたちのよりよい生活につながる仕事に就けたことを日々感謝しています。

会計監査のため、様々な支援地域を訪れることも、大切な経験になります。それは、皆さんから託されたご支援が、現地の人々に届いている様子を実際に見ることができ、そして、多様な文化を理解する助けとなるからです。

例えばこの9月~10月の出張では、3つの異なる文化を体験しました。インドネシアではイスラム教のラマダン(断食)を経験しました。私も朝の3時30分に朝食を取り、夕方6時45分までミント・キャンディー1個で我慢しました!また、宿泊所がモスクに隣接していたため、夜どお

しコーランが響き、ほとんど眠ることができませんでした。イスラム教の人々の規律と信仰心の篤さを知ることができました。続いて訪れたネパールではヒンドゥ教でもっとも重要なお祭りのひとつであるダサイン直前の賑わいに触れました。国をあげてのお祭りで、貧しい家庭でもこのダサインでは年に1度、衣服を新調し肉料理を用意します。そしてヒンドゥの女神が訪れて幸福をもたらしてくれるよう、家を清めます。そしてフィリピンへ帰ってきたら...。そうです、クリスマスキャロルが私の耳に聞こえてきました。フィリピンでは9月からすでにクリスマスの季節がスタートするのです。イスラム、ヒンドゥ、キリスト教とそれぞれの祝祭を経験して、文化の多様性を体験すると同時に、違いを超えてどの国の人にも同じ善良さ、暖かさや寛容さを感じました。そして、それぞれの宗教に共通しているのは、神様への信仰と、生きることへの感謝、平和への願いだと気がつきました。



アイリーン・サンチャゴ



インドネシアにて、支援地域のお母さんたちと

ハロハロめへこぞ

フィリピン事務所のスタッフ・レポート 「臓器売買」賛成・反対？

フィリピン政府は現在、謝礼金を義務づける「臓器売買」の制度化を検討しています。現状では売買を監視する仕組みがあるものの、十分には機能



オリバー・F・タゴ(通称レブ)
フィリピン事務所のプログラム責任者。年に数度は各センターをまわって活動が順調に実施されているかモニターしています。朗らかで、ジョーク好きな彼のまわりにはいつも笑い声が絶えません。

しておらず闇での取引が後をたたないといえます。合法化により提供者の負うリスクを減らし、受け取る報酬を増やすことを目指しているとのことですが、フィリピン国内では、「臓器売買」に関してどのような議論がされているのでしょうか？フィリピン事務所スタッフのオリバー・F・タゴからのレポートです。

フィリピンにおける「臓器売買」に関する現在の問題点

- 貧困により、闇取引であっても臓器を売らざるを得ない現実がある。
- 闇取引の場合、ブローカーに安く買い叩かれる。
- 提供者への手術後のケアが不十分で、身体を壊すことがある。

腎臓のない島

フィリピンの首都マニラ、トンド地区バセコは“腎臓のない島”という通称で呼ばれています。約50ヘクタールの土地に7万5千人がひしめきあうこの地域は、およそ3,000人の男女が貧困から腎臓を提供したということでフィリピン人の間でもよく知られています。

腎臓を提供した人の多くは地方の農村から、よりよい暮らしを夢見て故郷を後にした人々ですが、実際には以前と同じか、さらに劣悪な暮らしをしています。

フィリピン大学の研究者がこの地域の4人を調査したところ70,000ペソ～120,000ペソ(約140,000円～260,000円。参考:チャイルド・ファンドの支援家庭の平均年収は約12,070円)で腎臓を売り、そのうち3人は、闇のエージェントを通じて売ったため、移植者のことは何も知らないといえます。

しかし、これらの腎臓提供者は、子どもの教育費、子どもの治療費、また家族のためにという理由で腎臓を売る一方で、人の命を救うことができるというこの行為に誇りを持っていたといえます。

このように“腎臓のない島”の存在がマスコミを通じて国内外に報道されたことにより、フィリピンでもこの臓器売買に関する倫理的、法的な関心が高まりました。

それでは、どのような論争がなされているのでしょうか？

「臓器売買」賛成、反対？

反対派の意見

私たちの身体は“神さまからの授けもの”であり、いかなる理由であれ傷をつけてはならない。

臓器提供は、純粋に他者を助けるためのものであるべきで、謝礼金を受け取ることはおかしい。

臓器売買は貧しい人々への搾取であり、また移植用臓器の質を低くしている。

賛成派の意見

あくまで個人の選択であり、他人が関与することではない。謝礼金により、臓器提供へのモチベーションが高まり、移植を待っている多くの人たちに応えることができる。提供者は謝礼を受け取ることで自分や家族のために必要な収入を少なからず得ることができる。規制を強化することで、闇取引と搾取は減らすことができる。

8人のセンター長に聞きました

それでは、私たちチャイルド・ファンド・ジャパンのセンター長はどのような意見を持っているのでしょうか？23ヶ所のセンターのうち、8人のセンター長にインタビューしました。

まずセンター長全員が、臓器提供は人の命を救うという目的のもとで、なされるべきであり、金銭的な見返りを期待するべきではないと答えました。さらに、5人は自分の家族はもちろんだが、もしも必要としている人がいれば臓器をよこんで提供する。2人は健康上の理由から、また臓器の商品化を促進する可能性があるから提供できないと答えました。

同時にセンター長たちからは、「貧しい人々はこの問題を、教育を通じてもっと知る必要があり、提供者が健康を損なったり、ブローカーに搾取されないような政策とシステムを整える必要がある」との意見が出されました。

臓器売買に賛成であれ、反対であれ病気で苦しむ多くの患者が臓器の移植を待っていること、そして移植を受けることができずに亡くなっていることは事実です。移植待ちのリストは長く、そして今なお増え続けています。



インフォメーション コーナー

重要

『認定NPO法人』申請中です、 認定され次第お知らせいたします。

7月9日、『認定NPO法人』取得のための申請を国税庁におこないました。『認定NPO法人』として認定をされますと、支援者の皆様は寄附金控除を受けることができます。国税庁より認定の通知を受けましたら、皆様には直ちにお知らせをいたします。同時にチャイルド・ファンド・ジャパンのホームページでも告知します。

『認定NPO法人』についてのお問合せは:

会計・庶務グループの吉川(03-3399-8123)までご連絡ください。

お知らせ

チャイルドのとびっきりの笑顔に 会いに行きませんか?

『フィリピン訪問の旅2008』いよいよ申込受付開始!

チャイルドが暮らす地域や家庭、学校を訪問して、交流しながら支援活動の現場をご覧いただく楽しさいっぱいのツアーです。今まで事務局が実施した「訪問の旅」の経験をもとに、より参加者の方に支援の意義を実感していただけるように企画をいたしました。皆様の参加を心よりお待ちしております!詳細はSMILESに同封した、申し込みチラシをご覧ください。

締め切り:2007年12月21日(金)

問い合わせ先:03-3399-8123

小野・石井・伊藤



報告

『つながりふるじえくとチャリティ古本市 2007夏! 古本キャラバン』報告

今年も8月末に企業5社と協働で「チャリティ古本市」を開催しました。支援者の皆様から寄せられた古本は約4,000冊にのぼりました。ご協力ありがとうございます。協力企業は、キーコーヒー株式会社、キッコーマン株式会社、株式会社ジャパンエナジー、日本たばこ産業株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズです。

8月30日には会場でフィリピンコンサートを行い、東京外国語大学フィリピン民族舞踊団の皆さんが華やかなダンスを披露してくれました。

古本の売り上げにより、5名のチャイルドの支援が継続されます。



古本市の様子
5日間でべ1260名の方が来場してくださいました

お知らせ

杉並区立井草中学校の3年生が 『ボランティア体験』で来所

8月1日、東京・杉並区の3年生6名が、「福祉・ボランティア体験」の一環として、切手の整理やチャイルド・ファンド・ジャパンをPRするポスター作りをしてくださいました。生徒の皆さんからは「意外と地味な作業で驚きました。でも、この作業で世界の子どもを救えるということにも驚きました」「切手の作業が廻りまわって誰かの為になっているのだと知ってボランティアして本当に良かった」などのコメントが寄せられました。



作成したポスターを持つ生徒の皆さん。
東京事務局にて。

お知らせ

今秋も国際協力のイベントへ参加しました

10月に東京で行われた「グローバル・フェスタJAPAN」と「三鷹国際交流フェスティバル」へ出展しました。今年は両イベントでパネルの展示とともに『フィリピンのビーズを使って、プレスレットを作ろう』というワークショップを行いました。

このプレスレット作りはフィリピンのセンター30で、収入向上の一環として実際にチャイルドたちが行っているプログラムです。イベント会場では、計138名の方が参加して楽しんでくださいました。



子どもたちにまじってプレスレット作りに熱中する参加者の方々。

報告

ネパールの栄養改善事業の募金報告

2007年6月末から10月にかけて実施した「ネパール栄養改善事業」へ計940口、総額8,081,061円の募金が寄せられ、募金目標の800万円を達成することができました。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。支援プロジェクトへのご支援は、年間を通して受付けています。引き続きご支援よろしく申し上げます。

また、株式会社カカコムの「クリック募金」ではネパールへの支援を継続中です。10月末までに1,605,226円のご寄附をいただいています。是非1日1クリックで1円の募金にご協力ください。チャイルド・ファンド・ジャパンのホームページトップ画面より、クリック募金に簡単に参加できます。<http://www.childfund.or.jp/>

ChildFund
Japan

Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンは
ここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に
基づいて活動します。

ビジョン(目標)

すべての子どもに開かれた未来を約束する
国際社会の形成

ミッション(使命)

生かし生かされる国際協力を通じて
子どもの権利を守る

※ビジョン・ミッションに関する詳細は「2006年度年次報告書」p2をご参照ください。

スマイルズ
<チャイルド・ファンドだより SMILES> 2007年11月発行

〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

理事長 深町正信(青山学院院長) 事務局長 小林毅

TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730 E-mail:childfund@childfund.or.jp URL:http://www.childfund.or.jp/

コスト軽減のため本紙は「メール便」でお届けしています。 デザイン:モスデザイン研究所 印刷:岡村印刷工業株式会社

R100

古紙配合率100%再生紙を
使用しています

PRINTED WITH
SOY INK

大豆油インキを使用